



KOCHI SHINKIN BANK

## プレスリリース

平成29年9月4日

### スマートフォンを活用した新しい金融サービス 「ドットコムダイレクト」の取扱開始について

～当金庫が独自開発した本人認証システム「スマホ鍵」を搭載～

高知信用金庫(理事長 山崎 久留美)は、スマートフォンを活用した新しい金融サービス「ドットコムダイレクト」を平成29年9月7日(木)から取扱開始いたします。

当金庫は、中期経営計画として『金融イノベーション(Financial Innovation)』を掲げ、お客様の暮らしと事業に貢献できる次世代金融サービスの創造に向けて取り組んでいます。

### 「スマホ×金融取引」

新サービス「ドットコムダイレクト」は、近年、利用者が増加し、急速に普及してきたスマートフォン(以下「スマホ」と言います)からご利用いただける金融アプリケーション(応用ソフト)を開発し、金融取引と情報技術(IT)を融合することにより、個人・法人のお客様へ身近で利便性の高い金融取引環境をご提供するもので、ネット取引を生活の軸におく若者世代や、お勤めや子育てなどにより金融窓口足に足を運ぶ機会が取れない生活者世代の方々、日中忙しい事業者の方々への金融サービス拡充を図るものです。

#### スマホが窓口！ 預金もローンも振込も住所変更もスマホが窓口です。

お客様のお手元のスマホを利用して、「お振り込み」「お振り替え」「定期預金」「自動つみたて定期預金」「パக்கカードローン定額プラン」「ローン予約申込」「住所変更」などの金融取引がどこからでも行えます。(スマホ版のほか、パソコン版もご用意しています)

#### スマホが通帳！ スマホが通帳代わりに。複数口座の管理もできます。

「ネット通帳」機能により、預金残高やローン残高、取引明細などがリアルタイムで確認でき、スマホを横に向ければ通帳と同じ形式で見ることができます。また、お申込時にご登録いただく「代表口座」だけでなく、本支店の口座(口座名義および住所等が同一の口座)も登録すれば、一契約で複数口座が管理でき、お客様ご自身で使いやすくカスタマイズした画面に、預金やローン残高が一覧表示され、家計や事業の資産負債管理が簡単

に行えます。当座預金や証書式定期預金、割引手形・手形貸付などの事業性融資も登録でき、残高や契約内容がすぐにご確認いただけます。

### **スマホが鍵に！ セキュリティを高める「スマホ鍵(特許出願中)」を搭載しています。**

セキュリティ面では、いわゆるインターネットバンキングの脆弱性を極力排除し、お客様に安心してご利用いただけるよう、契約者番号・パスワード・取引確認ナンバー(乱数)による本人確認に加え、当金庫が独自開発した本人認証システム「スマホ鍵(特許申請中)」を搭載し、なりすまし等の被害防止に努めています。

「スマホ鍵」は、スマホなどからの架電によりお取引時の本人認証を行うセキュリティシステムで、インターネット網と電話回線網の二つの異なる経路で取引を承認する「二経路認証」を採用し、第三者から不正な操作をされた場合でも、お振り込みなど外部へ資金移動する取引には、スマホ鍵(架電による別経路による本人認証)が必要となるため、登録されたスマホ無しでは取引が成立せず、不正送金が防止できます。

- ◆インターネットバンキングでは、パスワード生成器(ワンタイムパスワード)を使った本人認証が一般的ですが、持ち歩いたり、操作の手間などお客様に負担がかかる面がありました。「スマホ鍵」システムでは、「スマホ鍵」として登録したスマホでサービスを利用するとワンストップで操作でき、煩わしさがありません。

併せて、お客様が不審なアクセスの有無をご確認いただける「操作ログ照会」機能や、不審を感知した際にお客様自身で本システムの利用を中止できる「緊急利用停止」機能などの安全対策を備えている他、ご本人が利用する可能性が極めて低く、気付きにくい深夜営業時間帯や早朝にインターネットバンキングの不正送金などの犯罪が多発していることに配慮し、サービス提供時間を午前8時から午後9時の生活時間帯に制限するなど、システムの・物理的にセキュリティ対策を講じ、不正利用・不正アクセスのリスクを低減しております。

利用対象者は、当金庫所定の申込を行った個人、個人事業主または法人(任意団体等の法人格のない団体は除きます)のお客様です。

当金庫では、「ドットコムダイレクト」を今後のサービス基盤となる重要チャネルと位置付けており、「窓口サービス」「ATMサービス」「インターネットサービス」の3つのチャネルを今後とも進化・連携させ、若者世代や働く世代など、幅広いお客様により貢献できる次世代型金融サービスを目指し、企業努力を続けて参ります。